

企画展「日本の科学館は大阪から」実施報告

西野 藍子^{*1}, 嘉数 次人^{*2}

概要

大阪市立科学館は2024年8月1日に展示場全面改装を行い、リニューアルオープンした。そこで、2024年8月1日～11月24日の期間、市民のみなさんとともに歩んできた科学館の活動の歴史をはじめ、リニューアルした展示場や新たな活動と、より深い楽しみ方を紹介する企画展「日本の科学館は大阪から」を開催した。本稿では、本企画展の実施内容について報告する。

1. はじめに

大阪市立科学館は1989年10月7日、大阪市立電気科学館の歩みを継承し、さらに天文や物理、化学など幅広い科学を扱う新たな科学館として開館した。そして、開館35周年となる2024年、開館以来初となる展示場全面改装を行い、同年8月1日にリニューアルオープンした。そこで、リニューアルオープン記念企画展として、前身の大阪市立電気科学館から現在までの87年の歴史を実物資料やパネルでまとめて紹介し、またこれからの新たな活動や生まれ変わった展示場のより深い楽しみ方を知っていただくことを目的とし、2024年8月1日～11月24日の期間、企画展「日本の科学館は大阪から」を開催した。

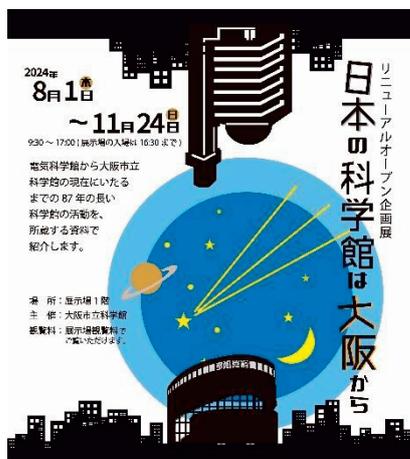


写真1. 企画展ポスター（デザイン: 永原氏）

大阪市立科学館 学芸員
^{*1} nishino@sci-museum.jp
^{*2} kazu@sci-museum.jp

2. 構成

本企画展の構成として、以下の3部構成とした。

- 第1部: 日本の科学館は大阪から -電気科学館の誕生
- 第2部: 電気科学館から大阪市立科学館へ
- 第3部: みんなの科学館

会場中央にある大型スクリーンでは、電気科学館から当館の現在にいたる87年の歴史を紹介する映像を流したほか、電気科学館と科学館が発行した書籍や雑誌類を書棚に置いて、自由に閲覧できるようにした。また、科学館の模型を国立国際美術館から借用し、電気科学館の模型を新規制作した。

その他展示物としては、電気科学館の展示(渦電流実験装置)や手塚治虫の色紙、科学館のオムニマックスフィルムなどが初公開であった。第3部に設置したアンケートでは、今回の企画展の内容にからめ、科学館の思い出やリニューアルした科学館の感想などをお聞きした。

以下にそれぞれの詳細を記す。

2-1. 第1部: 日本の科学館は大阪から -電気科学館の誕生

ここでは大阪市立電気科学館の開館当時について、当館に保存されている当時の冊子やパンフレット、ポスターなどとともに紹介した。またパネルでは、電気科学館の52年にわたる歴史を、当時の科学トピックスや社会情勢とともに紹介した。



写真 2-1. 企画展会場 入り口付近



写真 2-2. 企画展会場全体の様子

表 2-1. 第1部 展示資料一覧

資料名	区分	資料番号
電気科学館建築記念	冊子	2006-83
記念絵葉書	葉書	2000-7
電館のロゴマーク (資料保存の観点から複製 を展示)	複製	2006-85
『大大阪』1937年5月号	冊子	-
電気科学館ポスター (2点)	ポスター	1994-451 1994-452
大阪の新名所 電気科学館案内	リーフレット	1994-1157
遊星儀詳解	冊子	-
電気館の展示物解説資料	冊子	2000-72
陳列品説明書	冊子	2000-72

2-2. 第2部: 電気科学館から大阪市立科学館へ

電気科学館ではプラネタリウムホールを「天象館」、展示場を「電力館」とよんでおり、開館初期のころの様

子を資料などで紹介した。また、「うず電流の解説装置」や「三相誘導モーターのカットモデル」、「回路素子の変遷」など、いまに受け継ぐ展示物を展示し、さらに開館 50 周年となる 1987 年に開催された手塚治虫氏の記念講演の様子や直筆のサイン色紙などを紹介した。電気科学館が閉館した際の 1989 年 5 月のフィナーレイベントの様子やプラネタリウム「カールツァイス II 投影機」が解体される様子なども合わせて紹介した。

表 2-2(1). 第2部 電気科学館 展示資料一覧

資料名	区分	資料番号
電気館観覧手引	冊子	2014-5
電気館案内	パンフレット	2014-5
電気館月報 (資料保存の観点から複製を展示)	複製	2000-68
「天象館」	リーフレット	-
『天界』1927年5月号	雑誌	-
「プラネタリウムの説明」(『サービス』1937年6月号)	雑誌	-
プラネタリウム解説原稿	原稿	2006-88
三相誘導モーターのカットモデル	実物展示	1994-827
単相誘導モーターのカットモデル	実物展示	1994-828
うず電流の解説装置	実物展示	1995-1058
回路素子の変遷	実物展示	1994-614
電気科学館絵葉書	葉書	2000-69
電気科学館ガイド	冊子	-
ロボットスター君紹介パンフレット	パンフレット	2006-82
電気館案内	パンフレット	-
星の友の会の看板	実物	-
手塚治虫氏「懐かしのプラネタリウム」	冊子	1994-408
手塚治虫氏色紙	サイン色紙	1994-408
電気科学館の入場券	チケット	-
電気科学館パンフレット	パンフレット	2006-78
電気科学館記念盾	盾	-

続いてのエリアでは、新たに開館した大阪市立科学館の開館時の様子を開館時のポスターやパンフレットなどの資料で紹介し、パネルでは科学館の年表を科学トピックスや社会情勢とともに紹介した。また科学館においても、これまで何度か展示改装を行っており、化学や気象などの展示エリアが新たに充実したことや、小学校5・6年生向けのジュニア科学クラブの発足、サ

イエンスガイドや科学デモンストレーターなどの新たな市民参画活動の開始といった、いまにつながる科学館の活動を紹介した。

表 2-2(2). 第2部 大阪市立科学館 展示資料一覧

資料名	区分	資料番号
大阪市立科学館 開館ポスター	ポスター	-
大阪市立科学館 開館パンフレット	パンフレット	-
うちゅう 1989年3月号	冊子	-
うちゅう 1989年9月号	冊子	-
科学館 NEWS(シンボル マーク)	冊子	-
科学館 NEWS(サイエンス ショーができるまで)	冊子	-
オムニマックス フィルム	フィルム	-
科学館 開館当時の解説 スタッフ・案内員の制服	制服	-
エキスポラトリウム『クック ブック』	書籍	-
気象関連展示「雨量計」	資料展示	2017-16
『天体の回転について』	書籍	2008-251
サイエンス友の会誌	冊子	-
ジュニア科学クラブの 手帳、会員バッジ	手帳、バッジ	-
サイエンスガイドの手引き	冊子	-
新たな科学館ロゴマーク	印刷紙	-
ミュージアムショップ オリジナルグッズ	ハンドタ オル、バッジ等	-
月刊うちゅう、こよみハン ドブック、学芸員ミニブッ クなど	科学館発行 誌	-

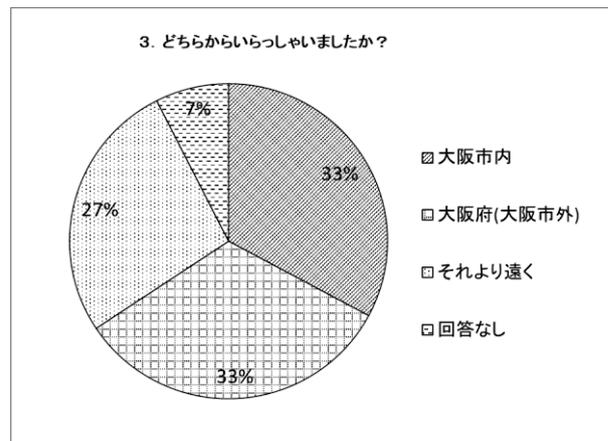
2-3. 第3部: みんなの科学館

ここでは、現在の大阪市立科学館に所属する学芸員の活動や、サイエンスガイド・科学デモンストレーターの活動について、パネルで紹介した。また、アンケート台を設置し、来館者の電気科学館や大阪市立科学館での思い出や今回のリニューアルの感想、今後に期待することなどを自由に記入いただいた。

企画展会期中にいただいた 67 件のアンケート結果を以下に記す。

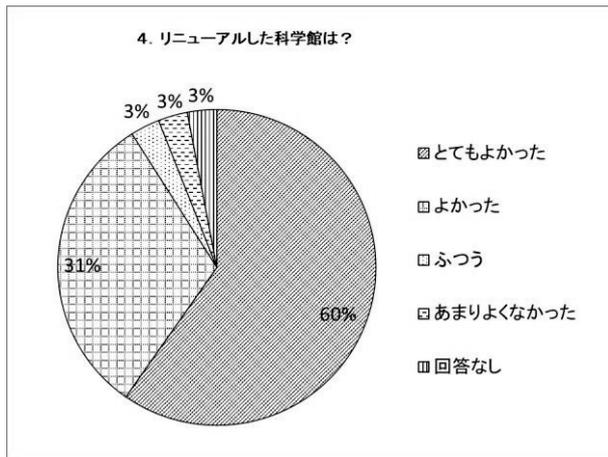
●どちらからいらっしゃいましたか？

大阪府内が 7 割程度、それよりも遠くが 3 割弱という結果で比較的近隣からご来館いただいていることが分かる。



●リニューアルした科学館はいかがでしたか？

「とても良かった」は 6 割、「良かった」が 3 割と概ね満足いただいているようであった。



●あなたの科学館の思い出をお聞かせください。

- ・電気科学館に小学生のころ何回もいき、日本最古というプラネタリウムをみました。
- ・幼稚園の時、電気科学館のプラネタリウムを見に来て、投影機がエイリアンのように見えて、すごく怖かったことを今でも思い出します。

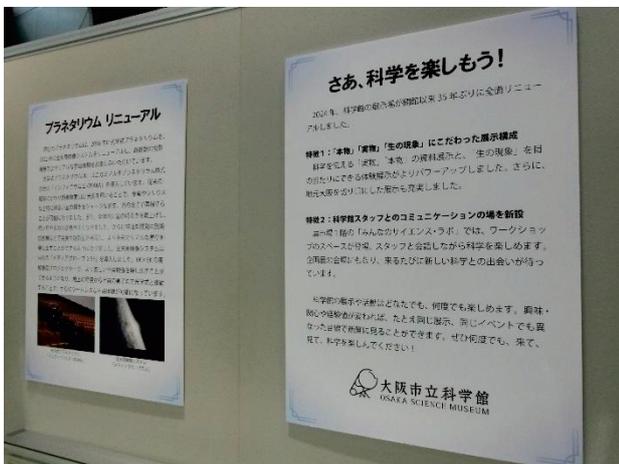


写真 2-3. 今回の展示場改装に関する解説パネル他

- ・大阪市立科学館には過去に何度か来たことがあるが、毎回非常に楽しませてもらっています。体験型の展示が多く、子供でも楽しく学べるのが良いですね。
- ・昨年度からプラネタリウム上映と展示目的で、数ヵ月毎に行っています。どれも毎回力が入った素晴らしい企画ばかりで、友人共々興味深く拝見しています。今回の展示企画も、昭和から令和までの時代変遷と科学館の歩みがよく分かる内容で、とても良かったです。
- ・子どものときに見たプラネタリウム、オムニマックス上映が大好きで、何度も来ました。
- ・電気科学館は小1の夏休みに行き、すっかりプラネタリウムに魅せられたし、今の科学館では、はやぶさに会えてありがたい
- ・当時はオムニマックス上映設備があり本編の上映前に流されていた元気な大阪の映像が懐かしいです

など。

●今後の大阪市立科学館に期待することをお聞かせください。

- ・もっと展示物が増えると楽しみ倍増です。
 - ・現在の(特に体験型の)展示を残しておくこと
 - ・企画展示をもっとしてほしい
 - ・プラネタリウム、そこそこ知識と興味のある人向けの内容をする回があるといいなあと。小さいときから通っていると、ある程度ムズかしい話も聞きたいなーと思うので
 - ・トイレをふやしてほしい！
 - ・もっと展示スペースを増やす必要アリ。
- 名古屋の科学館の方が数倍良い。
- ・ぐるぐる回る遠心力のやつが復活してほしいです。
 - ・もっと体験できるところをふやしてください
 - ・電気科学館時代の資料が思ったよりおもしろいので、常設でどこかに置いてください。
 - ・説明のシニアスタッフがとても親切で、ていねいに説明して下さり、よく分かりました。今後も大人も楽しめる少しコアな話ができるスタッフさんをいっぱい増やしていただければうれしいです
 - ・常設展示場は内容を頻繁に変えるのは困難だと思うので、今回のような期間限定の展示や企画などがあると、行く度にどこか目新しいところが必ずあり、何度行っても楽しいだろうなと思っています。

など。

3. おわりに

今回、リニューアルオープン及び大阪市立科学館開館 35 周年に合わせ、大阪市立電気科学館開館から現在にいたる 87 年の歴史を資料や実物展示とともに

総ざらいで一同に会し、企画展としてご覧いただいた。これまでも電気科学館の歴史を紹介する展示や、日本初のプラネタリウム「カールツァイスⅡ型投影機」を紹介するイベントなどは多く開催していたが、大阪市立科学館の 35 年間を含めた、87 年間の変遷を紹介する企画展は開催しておらず、展示場全面改装後のリニューアルオープン記念企画展としてふさわしかったのではないかと考えている。

今回の展示場全面改装においては、科学を伝える「本物」「実物」の資料と、「生の現象」を分かりやすく、楽しく体験いただきながら学べる体験展示にこだわり、また地元大阪を切り口にした展示も充実させた。それは電気科学館から続く長い科学教育普及活動の上に成り立っているものであると、筆者自身も本企画展を通して改めて実感することができた。またここからさらに、新しくなった科学館で来館者の皆様と科学を楽しく学んでいけたらと願っているところである。